

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (学名)	[34] 高校生のためのアグリビジネス入門 (農業から未来を考える)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 アグリビジネス学科 教授 重岡 徹 (計4名)
授業概要	今、農業には新しい風が吹いています。バイオテクノロジー、ICT、AI等の先端技術が農業生産、流通、消費そして農村コミュニティに活力をもたらしています。本講座では、先端技術を取り入れたアグリビジネスを紹介し、農業が創造する私たちの未来について考えます。		
授業方針	具体的な事例や今日的な話題を多く用いながら、身近なことから専門的なことまで、わかりやすく講義します。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス (平日9:00~17:00) 電話: 018-872-1529 E-mail: akyomu@akita-pu.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：48名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「アグリビジネスが創造する新しい農業・農村」 教授 重岡 徹

＜6月17日（土）9:30～11:00＞

アグリビジネスはこれからの農業・農村の活力源です。秋田県でも農業農村の活性化を目指して多様なアグリビジネスが展開していますが、その一端であるグリーン・ツーリズム活動から新しい農業農村の姿を見てみましょう。

第2講：「花と緑がもたらす未来の可能性－癒しと安らぎのある生活を－」 准教授 神田 啓臣

＜6月17日（土）11:10～12:40＞

花と緑を使って、私達の生活に癒しと安らぎを与えるための研究例として、「バイオテクノロジーを利用した花の大量生産」と「高齢化社会に花と緑を役立たせる園芸療法」を紹介します。

第3講：「ICTを活用した農産物流通の現状と可能性」 助教 末永 千絵

＜6月17日（土）13:20～14:50＞

ICTは流通においても変化をもたらしています。授業では農産物のインターネット取引を事例に、生産者から消費者に届くまでの現状の仕組みと将来の可能性について、最新の研究結果を交え紹介します。

第4講：「未来を守る農業水利施設の保全管理技術」 准教授 永吉 武志

＜6月17日（土）15:00～16:30＞

農業にとって大切な水は、堰や水路などの様々な農業水利施設を経由しながら農地まで運ばれます。この農業水利施設の保全管理に関する最新の研究や技術開発の動向を紹介します。

その他	昼食をご持参ください。
テキスト	
参考文献	
関連科目	